

5 京都メカニズムなどの活用

CO₂排出抑制目標達成のための補完的措置として、京都メカニズムなどの活用にも取り組んでいます。

(1) 京都メカニズムの活用

地球規模での温暖化防止に貢献するため、京都メカニズムを活用し、世界銀行炭素基金(PCF)、日本温暖化ガス削減基金(JGRF)の2つのファンドへの出資や、個別プロジェクトからのCO₂排出クレジットの購入に取り組んできました。

ファンドへの出資

ファンドによる事業で得られた温室効果ガスの削減量を、出資比率に応じて取得するもので、当社が出資しているファンドの概要は次のとおりです。

世界銀行炭素基金(PCF)

・世界銀行が設立したファンドで、出資者は先進国の政府や企業
・資金規模：1億8,000万ドル(当社は800万ドル出資)

日本温暖化ガス削減基金(JGRF)

・国際協力銀行、日本政策投資銀行の政府系銀行と我が国の民間企業により設立されたファンド
・資金規模：1億4,150万ドル(当社は300万ドル出資)

WEB 詳細は九州電力ホームページ
関連・詳細情報(P2参照) **京都メカニズムの概要**

(2) 国内クレジットの活用

京都議定書第一約束期間(2008-2012年度)を対象とした国内クレジット制度については、10事業者の国内排出削減事業にCO₂排出クレジットの買手として参加してきました。

国内クレジット制度への当社の参加実績*

事業名	実施場所	年間削減見込量(トン-CO ₂ /年)	事業概要
清滝	福岡県	約 2,900	温泉施設の給湯設備更新
べんがら村	福岡県	約 1,800	同上
北山カントリー	佐賀県	約 610	ゴルフ場の給湯設備及び空調設備更新
サンホテル白田	大分県	約 100	ホテルの空調設備更新
JA宮崎(2事業)	宮崎県	約 3,600	ハウス栽培における空調設備更新
弥生の湯	熊本県	約 1,500	温泉施設の給湯設備更新
ひぜんや	大分県	約 660	ホテルの空調設備更新
大川柳川衛生組合	福岡県	約 2,700	廃棄物処理場における乾燥設備更新
長崎県花き振興協議会(4事業)	長崎県	約 4,500	ハウス栽培における空調設備更新
諫早ドライムファーム	長崎県	約 480	ハウス栽培における空調設備新設

*:本事業における当社の参加形態はクレジットの買手であり、設備の導入資金の提供や、共同事業者として資本参加するものではありません。

用語集を
ご覧ください

- 京都メカニズム
- CO₂排出クレジット
- 温室効果ガス
- 国内クレジット
- 京都議定書
- 国際協力機構(JICA)
- IPP(独立系発電事業者)
- 天然ガス
- 地球温暖化

6 海外との技術交流などを通じたCO₂排出抑制

国際協力機構(JICA)等の機関を通じた専門家の派遣・研修生の受け入れや、海外の電気事業者との情報交換を行うとともに、アジアを中心に、当社・グループ会社の技術・ノウハウを活かしたIPP事業*や海外コンサルティング事業を展開しています。

*:Independent Power Producer(独立系発電事業者)の略

(1) IPP事業の展開

中国における風力発電所や、メキシコ、フィリピン及びベトナムにおける天然ガスを燃料とした高効率な火力発電所の建設・運転により、CO₂排出の抑制を図るなど、IPP事業を通して、グローバルな視点での地球温暖化問題に貢献しています。

また、インドネシアでは、スマトラ島サルラ地区において、総出力約33万kWの地熱発電所を開発するプロジェクトを推進しています。2013年4月には、伊藤忠商事(株)などと共同で出資する事業会社を通じて、インドネシア国有電力会社との間で売電契約を締結しました。今後、手続きを進め、2016年からの順次営業運転の開始を目指しています。



現地の地熱井(インドネシア・サルラ地区)

海外の現場からの声

インドネシアの地熱資源の更なる活用に向けて

国際事業本部
メドコ・ジオサマル・サルラ出向 **野上 誠** の が み ま こと



サルラ地熱
IPPプロジェクト
は、海外で日本の電力会社が実施する初の地熱
発電プロジェクト



現地での説明会の様子

トであり、単一開発契約では世界最大規模の地熱IPP事業として大きな期待が寄せられています。

当社を含む3か国4社のコンソーシアム(企業連合)及びインドネシア関係機関の間では、言葉、商習慣、文化の違いによる衝突や見解の不一致も多々起こりますが、その分、主要な契約の交渉・調印等の大きな課題をクリアした際の喜びはひとしおです。

今後とも、地熱大国インドネシアでの大型プロジェクトの実現に向けて、関係者一致団結して前進していきます。